1月号　　楷書臨書課題（漢字半紙部）　対馬聖峰臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～８段）

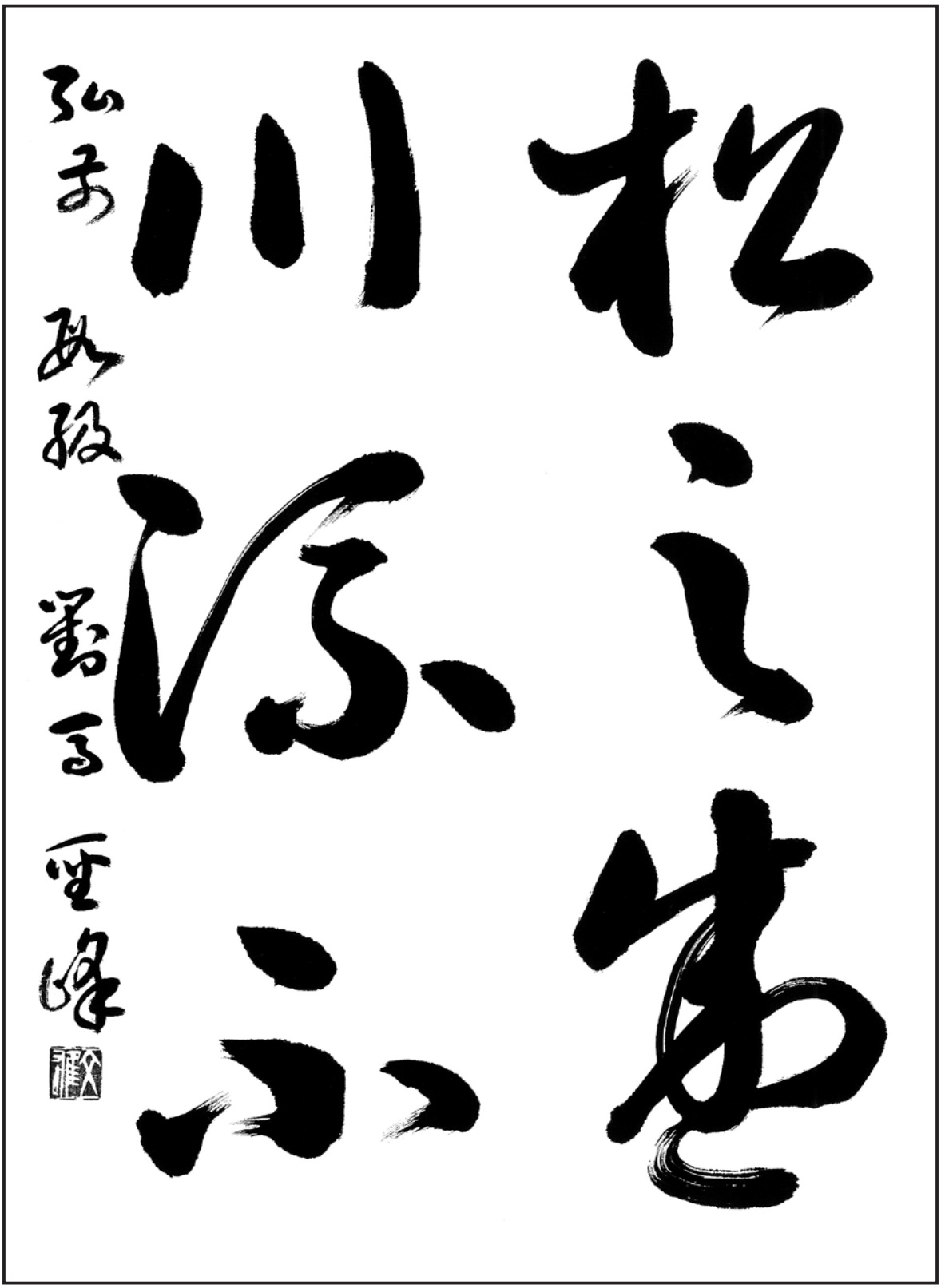
※弘前の部分には支部名を書く

使用筆（花林）・使用紙（無罫半紙・桐）・使用墨（黒耀）

1月号　　草書臨書課題（漢字半紙部）　　対馬聖峰臨

※出品段級位（漢字半紙部 新級～８段）

※弘前の部分には支部名を書く



使用筆（旭水）・使用紙（無罫半紙・松）・使用墨（黒耀）

1月号　　中 字 課 題（漢字半紙部）　　中 西 溪 州 書

※出品段級位（漢字半紙部 新級～８段）

読み―密葉深く蔵す好鳥の聲

意味―接しあえる葉は鳥をかくすのみか声を漏らさぬ程に深い。

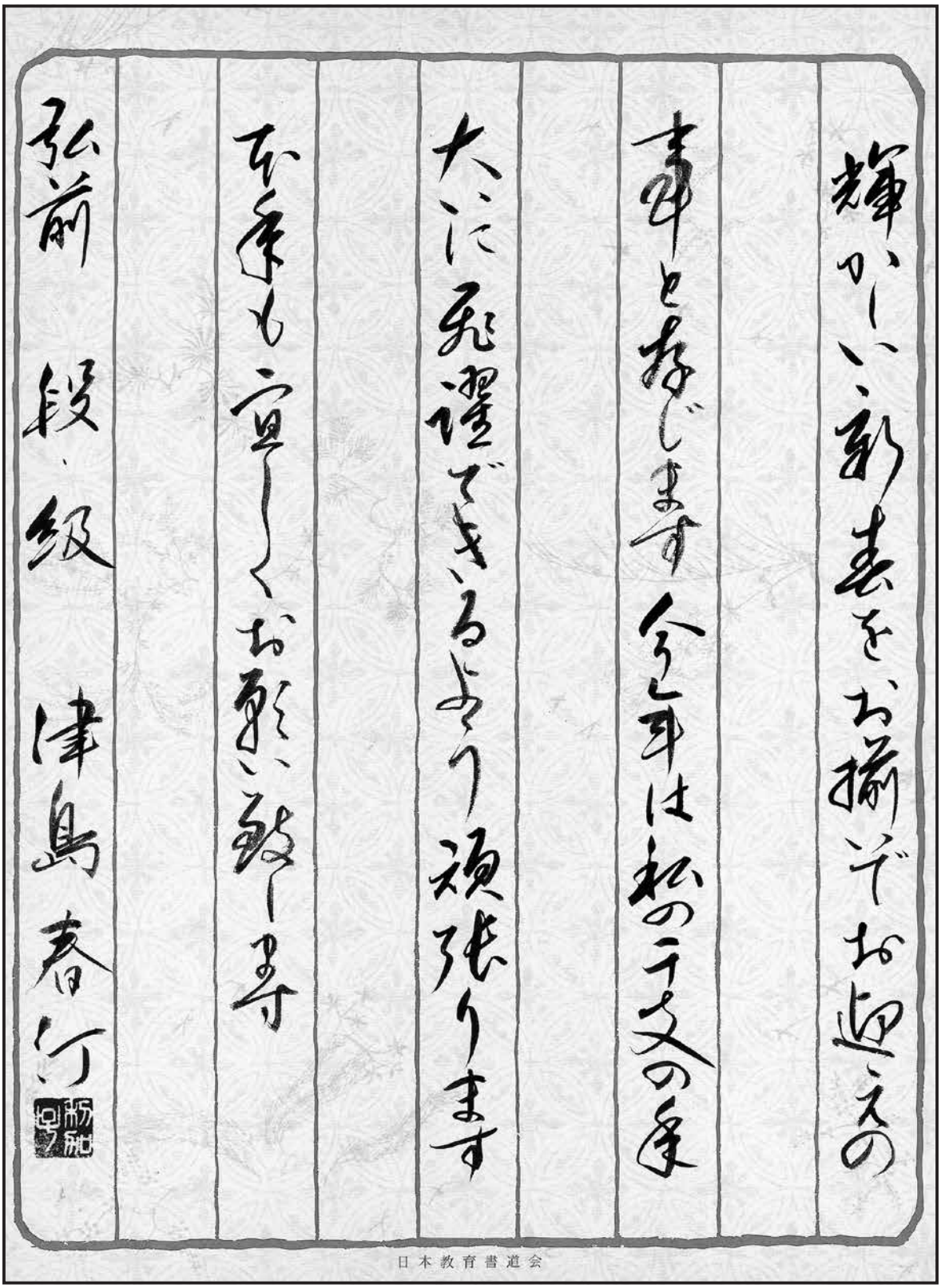
使用筆（天開）・使用紙（中字用半紙）・使用墨（書芸呉竹〈固型〉）

※弘前の部分には支部名を書く

1月号　調和体（漢字かな交じり文）課題　津島春汀書

※出品段級位（調和体部 新級～８段）

◎19頁に部分解説があります。



読み―輝かしい新春をお揃いでお迎えの事と存じます今年は私の干支の年大いに飛躍できるよう頑張ります本年も宜しくお願い致します

（●印墨つぎ）

※弘前の部分には支部名を書く

使用筆（からまつ）・使用紙（調和体用紙）・使用墨（書芸呉竹〈固型〉）

漢字条幅漢詩課題

漢字条幅部
※出品段級位（新級～八段）

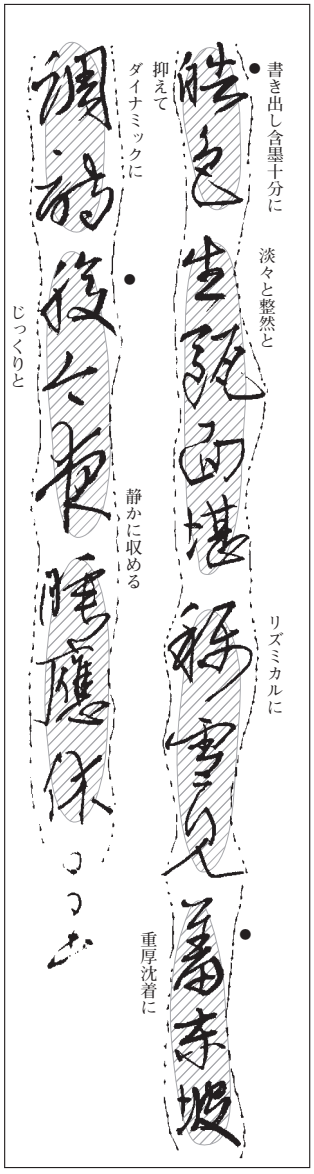
条幅の作品をどのように書けば、うまくまとめられるかということに、行の振幅を考えて書くという大切な事項があります。行の振幅は文字の大小関係、文字の中心を移動するなどによっておこる現象です。

又、この行の振幅は、自然に出入りが行われて書かれてあるということでもあり、出入りが激しいのは逆効果です。1行の中で、それぞれの字の張り出している所が同一線上に並ばないように留意することが、この自然な行の振幅を生み出すことになっています。

行の振幅は、とりもなおさず行間の振幅にもつながっている訳で、作品の流れに影響するところが大きいのです。これを行間の変化と呼び、作品構成の重要なポイントの一つになっています。

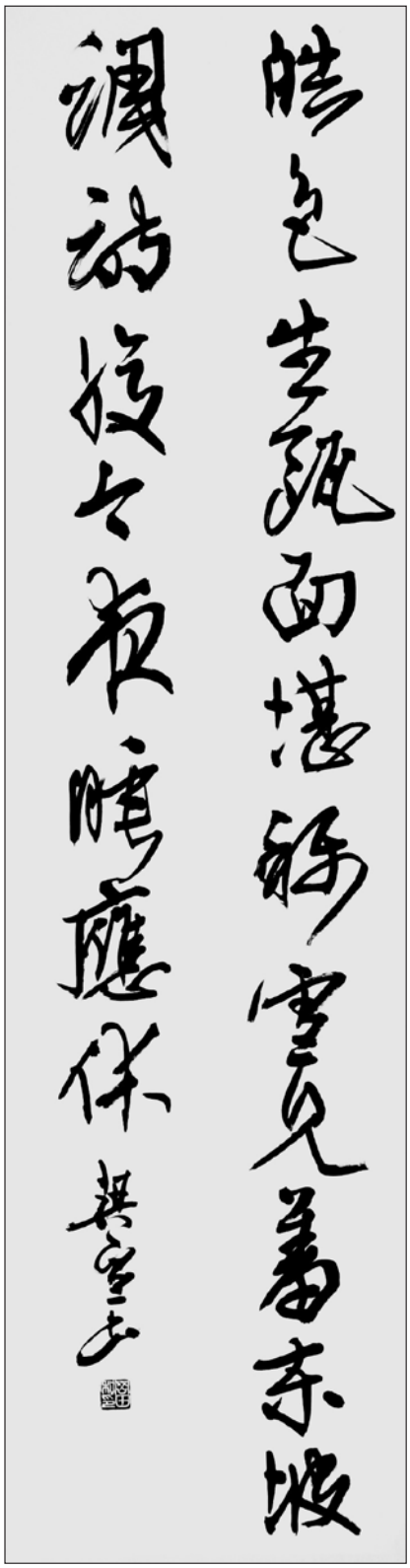
『いつもこの欄では、文字造形の調和のことを書かせて頂きましたが、書作に関しては、余計な気負いは避けて自然体でのぞみ、筆は無駄な力で握らないで、楽な運筆を心懸けて下さい。馴れないと初めは頼りない気持ちになろうかと思いますが、馴らすことが今後の大きな改善になると思います。』

（『　』内は岡田契雪先生より）



使用筆（白神）・使用紙（漢字条幅用紙半切・梅花箋）・使用墨（頂煙翰墨自在〈固型〉）

岡田契雪先生書



〔●皓色生甌面　堪稱雪見羞●　東坡調詩腹●　今夜睡應休〕蘇　軾　（●印は墨つぎ）

読み―皓色甌面に生じ、称するに堪う雪も羞ずかしめ見ると。東坡詩腹を調し、今夜睡るは応に休むべし。

意味―茶碗の面に真白い色がうかび、雪も恥ずかしいというに充分。蘇東坡は詩想を調整し、今夜は（茶を飲んだので）睡くはないはず。

半　切（約136×約35センチ）

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

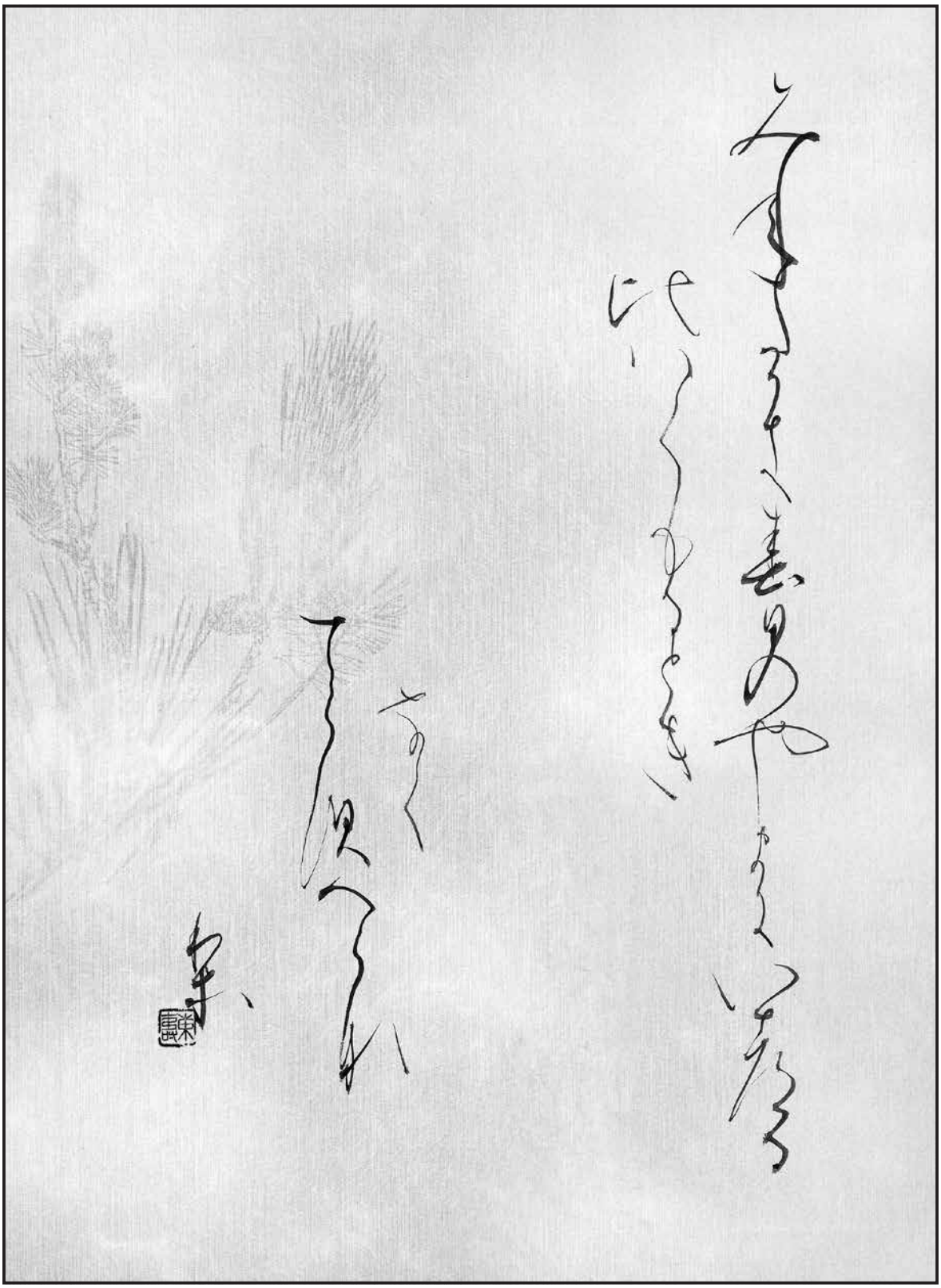
注　意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

1月号　かな課題(かな半紙部)　蓑輪東壽先生書

《短歌課題》　※出品段級位（かな半紙部 新級～８段）

●み年多可支春日のやま尓い都る比八くもるときなくてら須へら那梨●



使用筆(南風)・使用紙(かな用料紙)・使用墨(天衣無縫〈固型〉)

読み―峰たかきかすがの山にいづる日はくもる時なく照らすべらなり（藤原因香）

意味―峰の高い春日山に出る日は、曇る時なくこの世を照らすことであろう。

注意→支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

※出品段級位（ペン部 新級～８段）

１月号	ペン楷書課題（ペン部）	奈良岱奉書

支部名

学年

段級位

初めての人は新と書く

氏名

真の友は
最大の
財産であり
またもっとも
得難い人である

ラ、ロシュフコー

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価１５７円

（ボールペン0.7・硬筆用紙６行使用）

※出品段級位（ペン部 新級～８段）

１月号	ペン行書課題（ペン部）	奈良岱奉書

支部名

学年

段級位

初めての人は新と書く

氏名

真の友は
最大の
財産であり
またもっとも
得難い人である

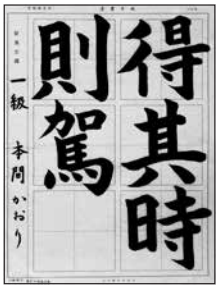
ラ・ロシュフコー

※ラ・ロシュフコー（1613～1680）…フランスの作家。

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価157円

（ボールペン0.7・硬筆用紙６行使用）

〔9月号作品紹介とその批評①〕



清原支部　6級　阿部　早苗
穏やかな線でゆったりと書かれている。

やすらぎ支部　5級　佐野ヤス子
紙にくい込むような強い線がよろしい。

岩山支部　4級　大竹　美幸
形のとり方が良く素直にまとめている。

東雲支部　3級　今村　文香
細部の筆づかいまで心配りがされている。

夕泉支部　2級　中野　雄介
明るくすっきりした作品。余白が生かされている。

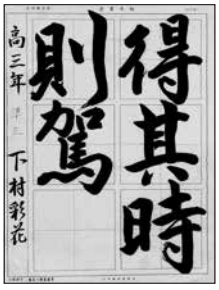
祥泉支部　1級　本間かおり
真面目に書作されている。この調子で。

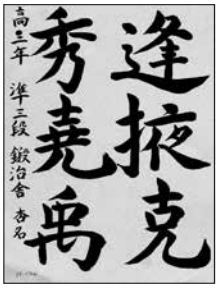
西大館支部　1級　島内　園可
しっかりした書き方でよく鍛錬されている。

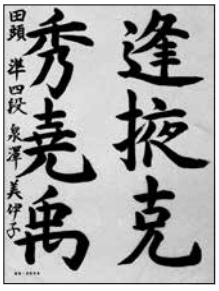
旭町支部　2段　昆野智加子
上品な仕上がりで練習の成果がでている。

山王支部　4段　石田　晴子
伸びやかな線で、生き生きと書かれている。

仙台泉支部　準5段　渡辺　美波
堂々とした書きぶりで、見応えある作品。







町田支部　1級　古川　静洲
抑揚のリズムをもって表現されている。

渓秋支部　準2段　三國　方大
手本に忠実に書かれていてよろしい。

城戸支部　準2段　佐藤　煌山
真面目に書作されている。更にご精進下さい。

秀舎支部　2段　山内　隆子
やや線が硬いが、字形はよろしい。

翠研書道院　準3段　下村　彩花
筆致あり、筆の弾力をうまく生かしている。

ひまわり支部　4段　佐久間虹桜
字形をよく捉え、一字一字丁寧に書かれている。

柿葉支部　4段　下舘　江春
粘り強い線で、味わい深いものがある。

東部支部　2級　加藤　史菜
一筆一筆慎重に運筆している。

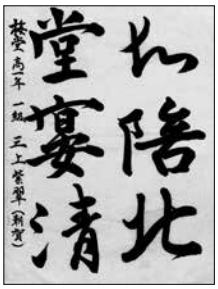
陽泉支部　準3段　鍛治舎杏名
文字の大きさ丁度良く、全体構成もよろしい。

田頭支部　準4段　泉澤美伊子
原帖の雰囲気を踏まえて書いている。

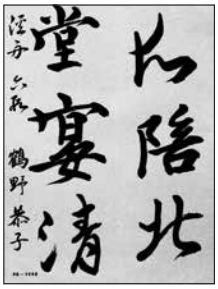
〔9月号作品紹介とその批評②〕

金木支部　準5段　成田　薫
整った字形でしっかりと書かれている。

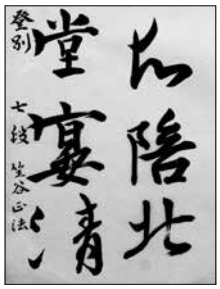
萩径支部　5段　大野　華睿
細やかな配慮が感じられ、的確に運筆している。



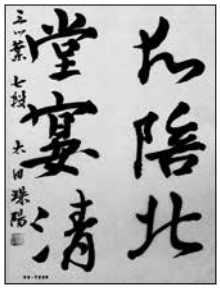
梅堂支部　1級　三上　紫翠
落ち着きのある運筆で、字形・配字ともによくまとめた。



渓舟支部　6段　鶴野　恭子
余裕のある筆致で淡々と書かれている。

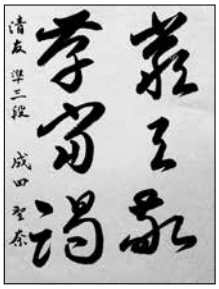


登別支部　7段　笠谷　正法
筆圧の変化自在にて見応えのある作品。



三ツ葉支部　7段　太田　珠陽
文字の形よく、美しい作品に仕上がった。

山形県　準8段　大塚　香花
堅実な造形で布置よく書けている。



清友支部　準3段　成田　聖奈
柔軟で暢達した運筆に、心地よさを感じる。

美楓支部　7段　倉　静花
重厚で堂々たる作品。安定した上手さがある。

岩木支部　5段　工藤　春花
文字の造形が美しく、細部に至るまで丁寧に書かれている。

雄山支部　5段　加藤　彩華
優しく素直にまとめている。

東栄支部　6段　藤平　祥子
余白が生かされ、すっきりと明るい仕上がりだ。

造道支部　準7段　立華　旭楓
少々重厚さに欠けるが、まとめ方はよろしい。

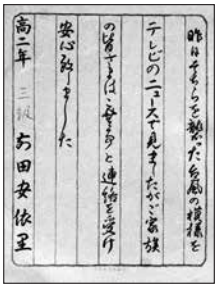
佳月支部　準7段　佐藤　渚月
丁寧な筆運びで、好感が持てる作品。

瑞泉支部　5級　坂本智恵子
真面目な学習態度が窺える。

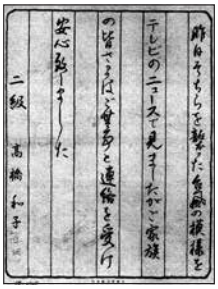
英翠書院　5段　菅　郁子
伸びやかな線質で、筆の弾力をうまく生かしている。

鵜飼支部　準6段　舘藤トモ子
造形が確実で安定感ある作品。

潮支部　6段　川瀬　雅子
抑揚に富んだ線の表現が素晴らしい。

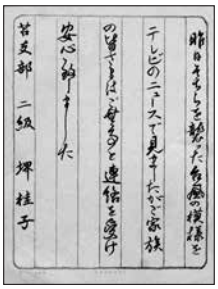


高杉書道教室　3級　前田安依里
大きさが程よく、まとまりよい作品。



札内支部　2級　髙橋　和子
構成・造形ともに整っていて、上品な感じの作品。

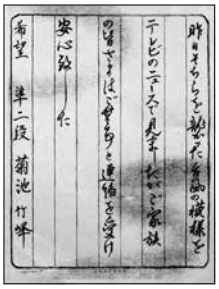
〔9月号作品紹介とその批評③〕



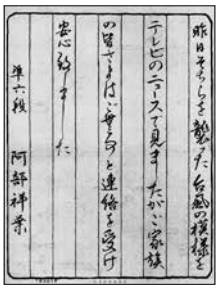
苫支部　2級　堺　桂子
流れよく、線もしっかりしている。

川村書道教室　準初段　菅原　路子
よくまとまっている。上の段目指して頑張ってほしい。

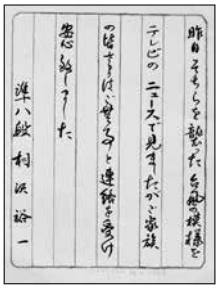
凌峰支部　準2段　田中　洋華
軽快に運筆されていて、文字の余白も美しい。



希望支部　準2段　菊池　竹峰
手本の要点をよく踏まえて書けている。

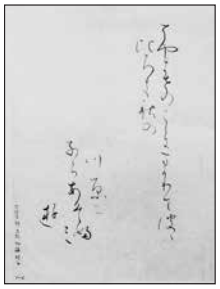


坊沢支部　準6段　阿部　祥葉
しっかりした書き振りで、よく鍛錬されている。

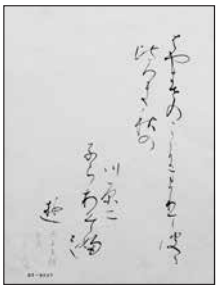


山形県　準8段　相沢　裕一
造形・用筆ともに素晴らしい。

深浦東支部　準3段　山田　綾香
全体にバランスのとれた作品。

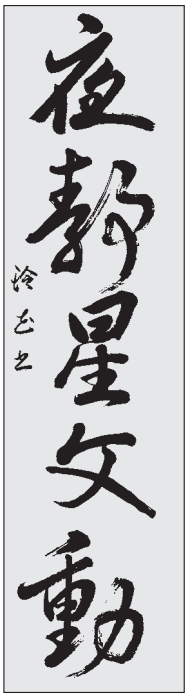


大沢支部　5級　加藤　桂子
半紙に調和よくまとめられ、神経の行き届いた作品。



六戸支部　初段　田中　春佳
やや硬いが、安定した上手さがある。

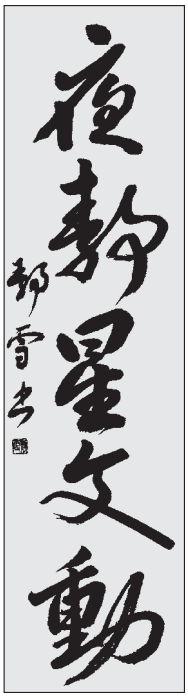
大和支部　4段　長井　悠華
思い切った変化のある造形と厳しい線質が魅力。



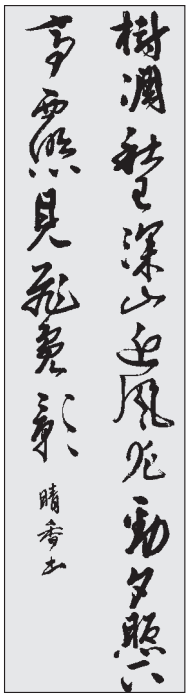
鈴川支部　8級　遠藤　玲花・運筆のリズムよく造形もよろしい。

山形支部　4級　成田　不美・強弱の変化あり、安定した運筆の作。

上川沿支部　3級　羽田　静湖・大胆な筆致で迫力のある作品。

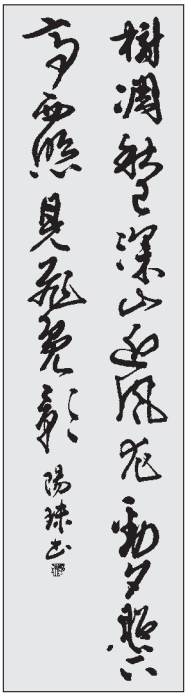


清楓支部　1級　沢田　静雪・堂々とした作品。この調子で進んで下さい。

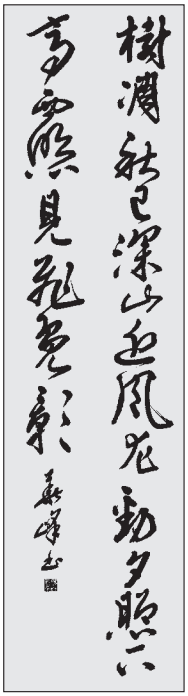


静玉支部　初段　吉本　晴香・筆の開閉、抑揚がうまくとれている。

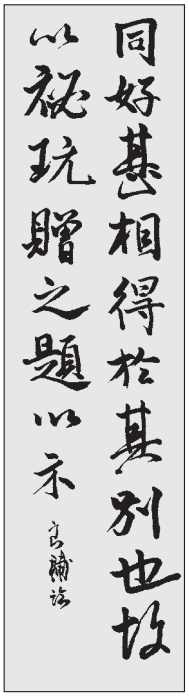
〔9月号作品紹介とその批評④〕



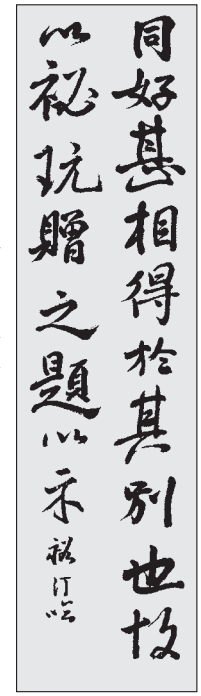
春汀支部　準4段　山本　陽珠　・着実な筆運びで、字形もよく捉えている。



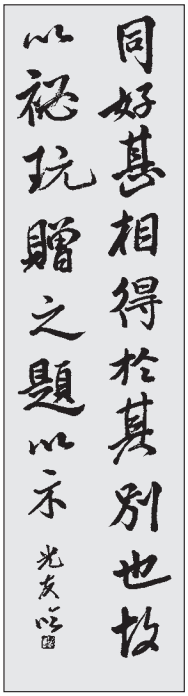
彩苑支部　5段　横山　華峰　・引き締まった造形で、淡々と書かれている。



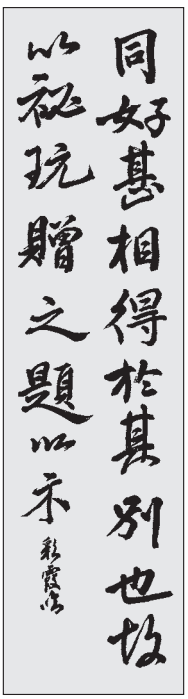
青山書道教室　2級　中嶋　良輔　・安定した筆運びで、用筆もしっかりしている。



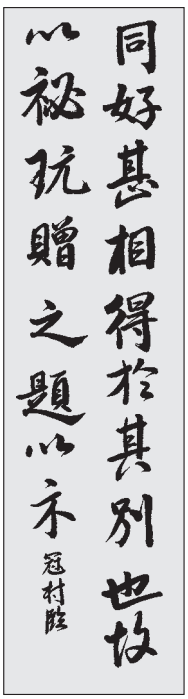
晃楓支部　準初段　境　裕汀　・線に錬度があり、構成ともによろしい。



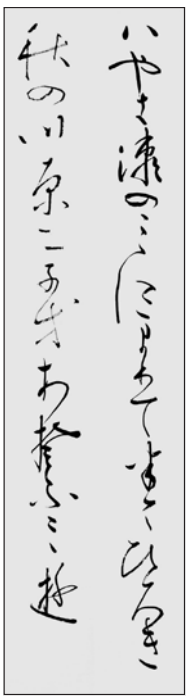
岩手県　6段　谷地畝光友　・線に冴えと重厚さを備え、素晴らしい作品。



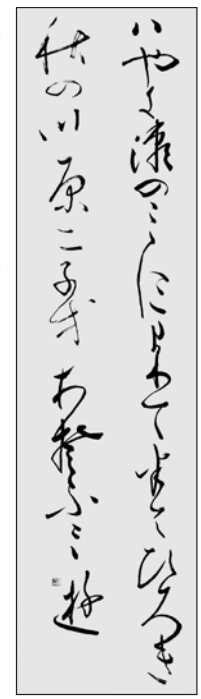
渓楓書道教室　準8段　小池　彩霞　・勢いよく運筆し、造形もよろしい。



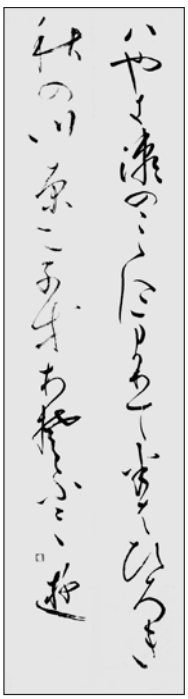
啓峰書院　準8段　佐藤　冠村　・ダイナミックで重厚な作品に仕上げている。



祥翠支部　2級　工藤　涼園　・柔軟な用筆で、潤渇の変化を巧みに生かした作品。



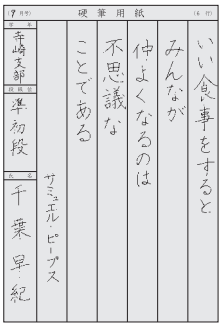
岩手県　2級　松舘　花扇　・柔らかい線で、自然な運筆がよろしい。



山形県　準6段　木村　綾翠　・リズミカルな運筆で、うまく配字している。

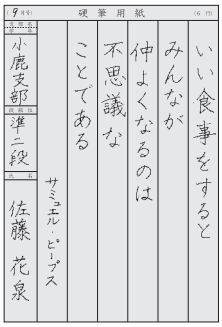
〔9 月 号 作 品 紹 介 と そ の 批 評 ⑤〕

●丁寧に書かれ、行もすっきりしている。



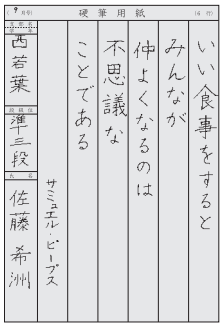
寺崎支部
準初段　千葉　早紀

●日頃の練習成果が発揮された作品。



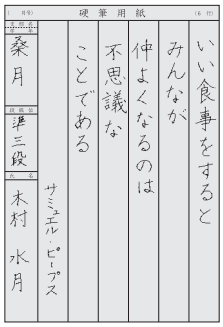
小鹿支部
準２段　佐藤　花泉

●よく整って安定感のある作品。



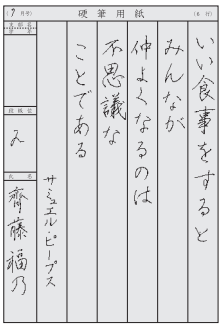
西若葉支部
準３段　佐藤　希洲

●真面目で丁寧な書き振りに好感が持てる。



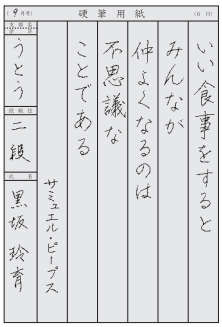
桑月支部
準３段　木村　水月

●自然な用筆で全体のまとめ方もよろしい。



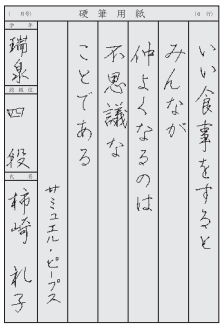
峰華支部
２級　齊藤　福乃

●柔らかなペンタッチが作品の効果を上げている。



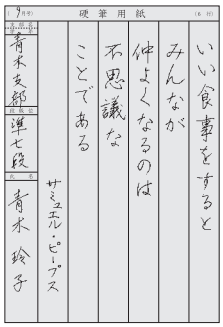
うとう支部
２段　黒坂　玲育

●丁寧で大きなペン運びが、作品を大きく見せている。



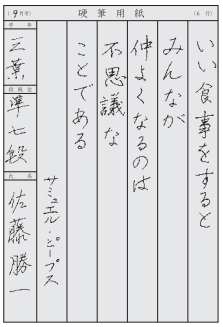
瑞泉支部
４段　柿崎　礼子

●抑揚ある柔軟な美しい線がよろしい。



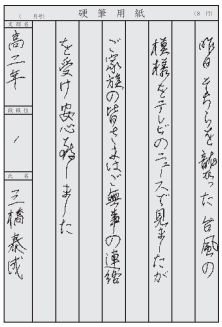
青木支部
準７段　青木　玲子

●優しい用筆で穏やかに書かれている。



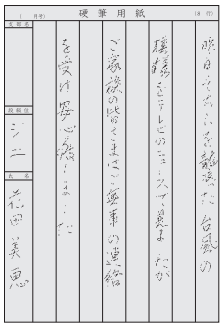
三葉支部
準７段　佐藤　勝一

●中心がしっかりしており、まとまりもある。



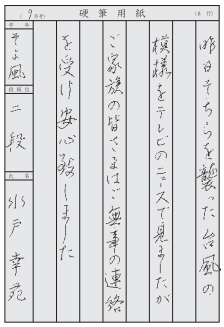
聖山筒木坂支部
１級　三橋　泰成

●日頃の練習成果が発揮された作品。この調子で。



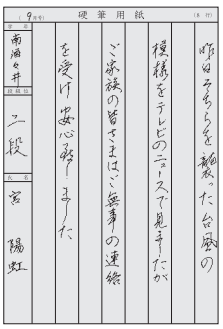
陽月支部
準２段　花田　美恵

●流暢な作品。細部まで気を配って書かれている。



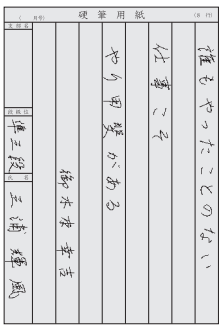
そよ風支部
２段　水戸　幸苑

●リズミカルな動きで、きれいにまとめている。



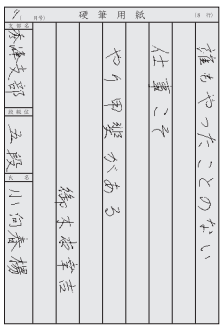
南酒々井支部
２段　宮　陽虹

●滑らかな中にもすっきりとした線でうまくまとめた。



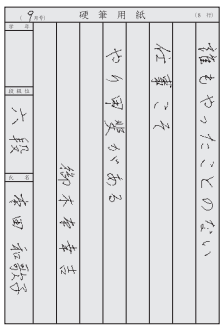
平賀支部
準３段　三浦　輝風

●力まず楽に書かれ、暖かい作品に仕上がった。



秀峰支部
５段　小向　春楊

●素直なペン運びで、バランスよく書けている。



東京都
６段　本田和歌子